平成27年度　第2回内灘町総合教育会議　議事録

１　日時　　　平成27年12月22日（火）
開会　13時30分　　閉会14時50分

２　会場　　　内灘町役場4階406会議室

３　出席者

内灘町長　　川口　克則
内灘町教育委員会
　教育長　　久下　恭功
　委　員　　田村　兼人
　委　員　　中村　壽
　委　員　　北川　八千恵
　委　員　　川辺　由美

[事務局]

総務部	総務部長	向　　貴代治
〃	総務課長	棚田　進
〃	総務課　主事	原　　円香
教育部	教育部長	北川　真由美
〃	学校教育課長	田中　義勝
〃	指導管理担当課長	岡田　秀
〃	生涯学習課長	上出　功
〃	学校教育課長補佐	上出　勝浩

４　協議事項

１．平成28年度教育予算要望について
２．(仮称)白帆台小学校建設実施設計状況について
３．通学バスの在り方について
４．小中学校の現状(学力・いじめ・不登校　他)について
５．その他

5　議事録

司会：向総務部長

【開会】

【川口町長あいさつ】

【協議事項】

１．平成28年度教育予算要望について

① 教育環境の整備(中学校冷房設備設置)についての説明(田村委員)

川口町長：中学校の冷房設備の設置については、教育委員会から国の方に補助金要望を提出している。採択された場合、早急に設置したい。

② (仮称)白帆台小学校の計画的建設についての説明(中村委員)

川口町長：仮称白帆台小学校の建設については、今年度中に実施設計を終え、平成28年、29年度に建設、平成30年度4月開校に向け進める。基金が約4億円あるが、文部科学省の補助単価次第では、小学校建設に全て取り崩さず、中学校の冷房施設の財源としても活用したい。

③ 通学路の安全確保(地下道の防犯カメラ設置) についての説明(北川委員)

川口町長：防犯カメラについては、内灘駅前と内灘海岸の2ケ所に設置してある。今後、地下道など、順次設置していきたい。

　通学路については、小学校の通学路は決められているが、中学校については決められていない。通学路を決めることにより、融雪装置や、防犯カメラの設置などを集中的に行えるのではないかと学校教育課と協議しているところである。

　また、一時避難所となっている公園に避難誘導灯を設置しており、グリーンニューディール基金事業を活用し、その誘導灯にも将来的には防犯カメラをつけたいと考えている。

北川委員：向粟崎小学校には、清湖大橋下を通り、向粟崎 5 丁目から通う子どもがいる。清湖大橋下には横断歩道がないが、どのように考えているのか。

川口町長：清湖大橋下は矢印信号が出るため、その信号機を直す要望を現在、津幡警察署に出している。横断歩道についての要望も合わせて出していく。

④ 学校給食共同調理場の整備計画策定についての説明(川辺委員)

川口町長：白帆台小学校の建設完了後の、平成 31 年、32 年度に向けて整備計画をあげていきたい。

北川教育部長：調理場は工場扱いのため、住宅地の中に新たに建てるというのはたいへんハードルが高い。場所の選定も含め、現在調査中である。

⑤ 町立図書館の施設設備・拡充についての説明(田村委員)

川口町長：内灘町の豊かな眺望を活かした新たな図書館の整備について、将来的に取り組んでいきたい。

⑥ 校庭芝生化の拡充についての説明(中村委員)

川口町長：小学校のグラウンドは順次、芝生化していきたい考えである。現在、学童野球に使用している学校があることを考慮し、地元の皆様のご協力を得ながら、進めていきたい。

⑦ 子どもから高齢者まで、生涯を通じた学習・運動機会の確保についての説明(北川委員)

川口町長：健康寿命を延ばすための様々な施策を保健センター等で行っている。また、屋内多目的広場を建設中であり、その後、体育館の建設にも取り組みたいと考えている。

⑧ スポーツ施設の計画的改修についての説明(川辺委員)

川口町長：町の財政負担も伴うので、補助事業を活用し、順次進めていきたい。

２．(仮称)白帆台小学校建設実施設計状況についての説明(田中学校教育課長)

〈川口町長〉：グラウンド芝生化についての考えを教えてほしい。

久下教育長：地元で説明会を行い、地域の方の了承を得ることから始めたい。
また、補助制度についても調査していく。

〈川口町長〉：屋上に太陽光とあるが、申請しているのか。

北川教育部長：町内小学校 5 校すべて申請済みである。

〈久下教育長〉：校歌・校章・制服は半年前に揃うとあるが、もう少し早くすべきではないか。

北川教育部長：制服等は保護者の負担を考え、早めに決める予定である。
川口町長：今後の予定が少し遅くはないか。
北川教育部長：計画的に、順次進めていく。
久下教育長：校名に関しては年明けには決定する。
川口町長：アンケートの結果で多ければ、校名は「白帆台小学校」になるのか。
「宮坂小学校」という案はないのか。
田中学校教育課長：アンケート結果の 7 割は分からないが、3 割は「白帆台小学校」となっている。
川口町長：議員からは横文字はどうかという意見があった。
北川教育部長：地元の方や、PTA 会長に選考委員に入っていただく。
田中学校教育課長：今後も検討を進めていく。

３．通学バスの在り方についての説明(北川教育部長、上出学校教育課長補佐)

〈田村委員〉：自転車通学が始まった場合、費用はどの程度、減らすことができるのか。また、どの便を削ることになるのか。

上出学校教育課長補佐：南部便は取りやめることが可能。北部便は橋を渡らなければならないため、協議が必要。小学校については平成 30 年から廃止する予定である。

〈川口町長〉：自転車通学になれば、通学バスは町のスクールバスだけで対応できるのではないか。

久下教育長：安全面を第一に考えて、スクールバスの対応以外にも、通学路、自転車通学を許可する範囲等、総合的に考えていかなければならない。

４．小中学校の現状(学力・いじめ・不登校　他)についての説明(岡田指導管理担当課長)

〈田村委員〉:フローチャートについて質問させていただきたい。事態の発生後、報告・判断・会議の開催までにかかる時間はどの程度か。(例：発生後、１日以内に会議を開催する。等)

岡田指導管理担当課長：特に時間は考慮していない。ただ、事態発生後は早急に判断するため、当日中には会議を開催できると考えている。

〈田村委員〉：いじめの解消のため、臨床心理士の介入はどの程度あるのか。

岡田指導管理担当課長：臨床心理士を町で雇っているが、介入の話は聞いていない。また、スクールカウンセラーが小中学校に石川県から配置されている。しかし、向粟崎小学校・西荒屋小学校には配置されていないため、町で臨床心理士を配置している。

〈川口町長〉：学力テストで理科だけ悪いのは何故か。

岡田指導管理担当課長：理科の指導方法に問題があると考えている。

川口町長：今後どうするのか。

久下教育長:去年からその兆候があり、今年の春にはメンバーを入れ替えている。また、中学校理科の強化について県に強く要望しており、今後も成績向上に取り組んでいく。

【閉会】